

職員回覧板

震災号外編

No.17

2011.4.7 上伊那医療生活協同組合

第4次支援隊帰任報告②

(3/29 ~ 4/2)

第4次支援隊（山崎事務長・松田・千賀両看護師さん）の支援報告を前号に引き続き掲載します。（写真は文書箱→写真→2011年度参照）

鳴瀬地区の状況（前号の続き）



……（中略）……国道を挟んで山側の地区には、松島医療生協の『ひなたぼっこ』というデイサービスがありましたが、こここの職員3名と利用者のお年寄りの方11名が流され亡くなつたそうです。海岸から少し離れており山の際に建つていたその建物までも津波が押し寄せ、避難していたすぐ隣の体育館を襲い逃げ切れなかつた14名が流されたと聞きました。海岸近くの家はもとより国道を隔てた山際の家まで波が押し寄せ、形は残つても1階部分が破壊され住むことが困難な家が多くみられました。『ひなたぼっこ』も1階の天井まで



泥水が上がつた痕がわかります。建物は残つてゐるもの窓も壊れ内部はめちゃくちゃな状態で、後から出されたと思われる車いすが数台泥だらけになって玄関先に放置されていました。2階は泥水は上がらなかつたものの資料などが散乱し、残つた機器も倒れていました。（左右写真）（松田看護師さん）

地区訪問の結果わかったこと・感じたこと・対応したこと……

（千賀・松田看護師さん）

- * 店は全部流されたけど、体は大丈夫だと笑顔の奥さん。店を出ようとすると裏口からご主人が出てこられて、「あんなこと言つてたけど、腰を痛がつてゐるんだよ」と。
- * 昨年ご主人が亡くなつた悲しみも癒えない間に今回の地震で、皆が来てくれるけど癒されないと、定年後ご主人と一緒に旅行をした写真を見せてくださつた一人暮らしの女性。
- * 不整脈と糖尿病の薬を飲んでいたが、先生も忙しいだろうからと受診を遠慮していた方。
- * 家の周りは流されてきた瓦礫が山積みになつてゐるが、まだこの中に遺体があるのではないかと思つたりして不安。早く片付けが進んでほしい。
- * 家に戻つた時、庭に遺体があつた。知らない人だつた。
- * 家の被害は少ないが嫁と内孫を亡くした。地震の直後に待ち合わせて逃げようとしていたが会えず結局2人は流された。

すべて挙げればきりがなく、すぐに対処できる事や個人の力で解決できる問題もあるものの、少なかつたように思ひます。健康問題については避難所に医師の巡回があり、常用薬や風邪薬の処方はそこでしてもらえるようですが、医療的なことでは心のケアのできる専門家の支援が入ればと思うことが何回かありました。ようやく避難所から家に戻り家の片付けに追われ、とにかく生活を元に戻していく事に一生懸命でなんとかがんばらなきゃと気が張つてゐる様に感じられましたが、今後片付けも落ち着き生活も戻りつつある中で肉親を失つた悲しみや震災当日の出来事、その後遺体を見たり、また近くにあるのではないかという不安や今後の心配などがどのような形でなつかわかりませんがだんだんにでてくるのではないかと思ひます。（松田看護師さん）

◎ 私たちの訪問がどれだけ役にたつてゐるのか、と悩むところである。湿布や軍手・服をお渡しすることしかできない。様子を聞いて、薬が無いと聞いても、生協の診療所は10km離れていて、生協の送迎も金曜日だけ。どう支援をしていくのか……今回の訪問が第一歩となり、今後も継続する中で方針も出てくるのだろうと理解しておきます。（山崎事務長）

◎ 自分の感想として、今回被災された方々が、思つてゐたよりも明るくまた冗談を言って笑わせてくれたとしばしば笑顔が見られたりするのがとても印象的でした。そして必ずと言っていいほど「うちよりももっと大変な所がたくさんあるんだから。」「うちはまだいいほうだ」という言葉もよく聞き、被害を受けてゐるにもかかわらず他の被災者を気遣つてゐる姿も印象的でした。



5日間お世話になつた松島医療生協の組合員さんはじめ職員の皆さん、地域の皆さん、また3日間一緒に支援活動に携わつた山梨・山形県民医連・民医連事務局スタッフの皆さん、そして今回5日間一緒に同行させて頂いた山崎事務長さんや千賀看護師さんにあらためて感謝いたします。また温かく支援に出させて頂いた病棟の皆さん、病院の皆さんに感謝いたします。ありがとうございました。（松田看護師さん）

◎ 拙い文章ですが、被災地の様子を少しでも理解し、私たちがこれから何をしていけばいいのか参考にして頂ければと思います。勤務を代わつて頂いたり忙しい思いをさせた職場の皆さん、ずっと運転させてしまつた山崎さん、ずっと頼つてしまつた松田さんありがとうございました。今回本当に貴重な体験をさせて頂きました。今まで忘れていた大切なことに気が付いた思いです。本当にありがとうございました。（千賀看護師さん）

支援隊の皆さん本当に疲れ様でした。詳細な報告ありがとうございました。

小林伸陽理事長による情勢学習会

4/6 昼 12:30～ 「震災復興と政治の役割」というテーマで小林伸陽理事長による情勢学習会が開催されました。約30分間の集会でしたが、震災の復興と地域医療の充実のために政治の役割は重要と強く訴えられました。（次号にて詳細）

※ 支援隊報告集会（3/25）の続編は次号以降に掲載する予定です。